

令和2年度有田川町少年少女発明クラブ 第8回目の活動の様子（12月19日）

今回はいつもの実験や工作等とは異なり、見学研修です。

「西日本で最大級」と言われている、JAありだAQ中央選果場様に伺いました。



DVDを観て、場長さんからお話を伺いました。
ちなみに、みかんをパカッパカッと割る『有田むき』の姿はまるで四葉のクローバーのよう。なので、『有田みかんは、幸せみかん。』なんだって！縁起がいいね！みかんはビタミンCもたっぷり。いっぱい食べよう♪



さあ、選果場内を見学です。
農家さんから運び込まれてきたたくさんのみかんたち。
どうやって全国へ届けられるのでしょうか？

このロボット、一つ約20kgほどあるコンテナを3つ
も軽々と動かしています！すごい！
特に男子メンバーは興味津々！



光センサーで糖度を選別。光センサーのおかげで糖度
のバラつきを抑えられるそうです。
見た目だけで判断せず、中身をしっかりチェック。
みかんも人間も、外見だけでなく中身が大事ですね。
(ウん・▽・ウん)



いよいよ、みかんたちの旅立ちの準備も終盤。
見た目も中身もチェック完了。
選ばれしおいしいみかんたちが箱に収まりました。
さあ、最後はトラックへ。



ベルトコンベアに乗ってトラックの入り口に到着。
たくさんの10トントラックが箱詰めされた有田
みかんを乗せていきます。
有田みかんを心待ちにしてくれている全国の人た
ちに向けて、出発です。



みかんをはじめ多くの農産物は、自然のものなので品質にバラつきがあって当然です。が、光センサーを含む作業の機械化でクオリティの平準化や作業の効率化を図ることで、今日の『有田みかん』のブランド力を築きあげてこられたのだと感じました。

今度みかんを食べるときは今日のことを思い出しながら、『有田むき』で食べてみてね！